

【活動報告】 第25回技術交流会

日時	2017/7/18
場所	新日鐵住金(株) 名古屋製鐵所
参加者	26名

【講演】

京機会 池田明弘様、嶋本淳様
池田さんより鉄鋼業の現状と新日鐵住金におけるエネルギー・熱の有効活用による環境負荷低減の取組について、嶋本さんより名古屋製鐵所としての操業改善の例として、1)加熱炉保全、2)圧延オペレーションの自動化の取組について、それぞれご講演いただきました。



【所感】

工場見学では、まず製鐵所のスケールの大きさに驚かされました。右上の写真は、実際に高炉で使われていた炉を切り出して展示されていたものですが、2000℃の高温にも十数年耐える設計となっているそうです。熱間圧延ラインでは、真っ赤になった鉄が通るたびに、その輻射熱の強さを肌で感じました。このラインにおける鉄の冷却プロセス制御が、製品特性に極めて重要となるそうです。また巨大な圧延ロールの交換が、5分程度で自動化されているのは驚きでした。

当日は、よく晴れて大変暑い日でしたが、飲み物や冷却剤を準備して暑さ対策に配慮して頂いたおかげで無事に見学を終えることができました。

